

室谷川支流打出沢ムサ沢

齋藤 宇

■山行年月日:2021年7月 23~24日

■メンバー:石川貴大、佐藤敏二、齋藤
宇

■コースタイム:ムサ沢9:00~15:30ゴル
ジュ 3段滝~(撤退)ビバーク適地
17:30

御神楽岳室谷登山口に車を1台デポし打出沢へ。ムサ沢との分岐まで車で入れた。しばらく平凡な河原状。メジロはない。次第にゴルジュと河原が交互に出てくる。釜を持った小滝も出始め、巨岩帯にも時間がかかる。一枚岩の様子になってきた。流れは少なく感じていたが釜にはたっぷりと水をたたえている。泳いで取付く滝はホールドが少なく苦戦する。ゴルジュ状の滝が連続して、高巻きも困難。

15:30を過ぎてゴルジュ3段の滝。石川が1段目、2段目の釜を泳いで3段目を偵察。落ち口は20mはありそうだ。想定よりも困難な沢。目標にしていたテン場もまだ先のよう。出発時間の遅れなどによりパーティーの安全を考え引き返すことにする。下降もゴルジュや巨岩帯には懸垂支点が少なく、クライムダウンに時間がかかり河原状のビバーク適地までたどり着けず17:15。わずかなスペースでテントを張る。

翌日になると昨日はいなかったメジロが出てきた。ちょうどこの時期から出てくるのだろう。今回は敗退。甘く見て

いた。きちんと準備し次回への課題とする。



深い釜からCSへの取付け



ちょっと潜ってみます